

○昼休み中に、よく読んでおきましょう。

多職種協働研修（基礎コース）グループワーク用事例

事例概要

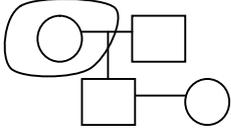
T子さんは84歳の女性で、農村地域に古くからある一戸建て（持ち家）の住まいに1人で暮らしています。夫を10年前に亡くしてから1人で暮らしています。

よく面倒を見に来てくれていた一人息子を数年前に亡くしてから気分の落ち込みがみられています。それまでは、家のすぐ隣にある畑で農産物を作り、近所に分けたり、農産物の販売店におろしたりと活動的でした。老人クラブの集まりなどにもよく参加していましたが、日にちを忘れてたりして参加することが減ってきました。

若いころから付き合いのある近隣の知人たちと交流はありますが、T子さんが何度も同じことを確認に行ったり、無くしたものを持っていないかと疑いをもっていたりするため、徐々に関係は悪化しています。しかし、同じ集落で暮らしている近隣の人たちが気にして生活支援、集まりへの声かけ等をしてきています。隣町に住む亡くなった息子の妻が、生活の支援や制度手続きをしてくれていますが、掃除をすると、「勝手に物を捨てた」と怒鳴ったり、「余計なことをするな」と怒るため、息子の妻も距離をおきはじめています。

今年になり、夕食のために鍋を台所のガスコンロに火をかけたまま庭仕事をしていたところ、回覧板を持って訪ねてきた近所の人気づき、鍋が少しこげた程度で幸い大事には至りませんでした。『火事になったら大変』と心配した近隣の知人たちが、役場に相談に来ました。近隣の知人、亡くなった息子の妻、地域包括支援センター、民生委員など関係者が集まり今後の対応について話し合いが実施されました。

その後、介護保険を申請し、要介護1の認定が出ました。1人暮らしのため、今後の支援体制について、地域ケア会議を活用して検討することとなりました。

年齢・性別	T子さん、84歳、女性	
家族構成	一人暮らし。夫は死去。 一人息子も数年前に死去。息子の妻（60歳）が隣町に住む。	
生活歴	T子さんは千葉県生まれで隣町から嫁いできました。嫁ぎ先は、古くから田畑をもつ農家で、夫は、近隣の工場に勤める会社員でしたが、休日は二人で家の田畑を守り、お米や農産物を作っていました。 地元に伝わる伝統料理が上手で、よく作っては家族や近所にふるまって喜ばれていました。	
病歴	介護保険申請時に、病院を受診。アルツハイマー型認知症と診断。	
服用薬	(介護保険申請時、受診、アリセプト処方。)	
要介護度	(介護保険を申請後、要介護1となる。)	
障害老人自立度	ランク J	
認知症老人自立度	ランク II a	

健康状態		顔色はよい。体の不調の訴えはない。血圧値も服薬中で安定（正常範囲内）している。体温、脈拍、呼吸数は、正常範囲内。 下痢がある。
ADL （日常生活動作能力）	移動	一人で歩行可。
	食事	1人ではしを持って食べることができる。
	入浴	声かけすれば入浴する。
	排泄	たまに、尿失禁がある。
	整容	1人で可能だが、声かけがないと何もしないこともあり。
	衣類着脱	1人で可能だが、声かけがないと同じ衣服を着ていることがある。
IADL （手段的日常生活動作能力）	食事の支度（料理）	近隣の知人が食べ物を届けてくれたり、亡くなった息子の妻が差し入れをしてくれている。ご飯を炊くことはできる。
	家事（掃除）	一人では不十分である。
	洗濯	指示するとできる。
	電話	受話器を取り、話すことはできるが、話した内容は覚えていない。
	移動・外出	1人で外出できる。
	服薬の管理	決まった時間に決まった分量を服薬することはあまりできない。
	金銭の管理	年金生活。通帳をなくすことが頻回になっている。
	買い物	近所の商店で1人で買い物することはできるが、同じものを何度も買ってしまったりする。
睡眠		よく眠れている。
認知		何度も同じことを確認する。
心理・行動症状		無くしてしまったものを、誰かに盗られたと言って近隣の家に行くことがある。 また、亡くなった息子の妻が掃除をすると「勝手に物を捨てた」と怒鳴る。
コミュニケーション		日常的な会話はできる。
社会との関わり		地域との交流はある。
性格・気質		もともと頑固。
生きがい・趣味		農作業。伝統料理づくり。
人間関係		もともと人との付き合いは良好であった。
介護力		亡くなった息子の妻が生活支援、制度手続きを実施しているが、T子さんから怒鳴られることもあり、最近は、距離をおきたいと思っている。
排尿・排便		下痢がある。

	たまに、尿失禁（尿漏れ）がある。
口腔衛生	入れ歯をいれている。 入れ歯の具合が悪くてうまく噛めないためなのか、嚥下の状態が悪いのか、よくむせる。
食事摂取	食欲はあるが、腐ってしまった食品を食べてしまうこともある。
特別な状況	持ち家は、老朽化していて修繕が必要になってきている。